

主な活動 (2008年4月～2011年9月まで)

市民の皆様より、“議員”の活動が見えない。“議会”は何をしているのか分からないと言われてきました。私は、その声に応えるべくホームページや議会報告会、街頭演説等をつうじて情報公開をして参りました。

ここでは、「市民の皆様との約束」についてその一部しか紹介できませんが是非ともホームページをご覧ください、私のこれまでの活動をチェックしていただきたいと思っております。

私は“議員”として、自身の活動を市民の皆様へ公開することは、報酬をいただく上で“義務”だと考えています。

議員の言いつばなし、市民の選びっぱなしは三沢市の未来に対し、決して良いことではないはずで。

1、一般質問

平成20年第2回定例会（6月議会）から平成23年第3回定例会（9月議会）まで、平成20年第4回定例会を除いて、全ての定例会において一般質問を行いました。

登壇回数13回。 質問内容述べ35項目75質問。



2、研修会（自己啓発）活動

個人として、ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟に加入し毎年3回の講義、研修会に参加してきました。また、2010年4月に結成した会派「みさわ未来」の研修会として、これまで10回の研修会を企画、実施しました。



3、会派“みさわ未来”の活動

「開かれた議会」を目指し議会報告会&タウンミーティングを6回開催しました。また、市民協働のマニフェストを作成するため各地域でタウンミーティングを3回開催したほか、会派情報紙『未来からの風』を増刊号も含め7号発行しました。また、街頭演説会を4回開催いたしました。



4、NPO法人等の活動 (テイクオフみさわ・日本宇宙少年団みさわ分団)

2003年にNPO法人テイクオフみさわを設立（2010年まで理事長）し、2006年度より、県立三沢航空科学館を指定管理者として運営しています。

（指定管理以前の入館者数11万人を22万人まで倍増（2010年度））また、宇宙教育普及のため2010年6月から日本宇宙少年団みさわ分団（顧問）を設立・援助し、手作りのプライマリーグライダーを製作するなど子供たちの体感できる事業を積極的に展開してきました。

現在は、八戸工業大学との連携事業で「空中ペンギン」を開発中！様々な人が航空科学館に関わる日本一のコミュニティミュージアムを目指しています。

※写真は、山崎直子宇宙飛行士（右から2人目）とOKサイン！



マニフェスト自己評価表 太田博之のこれまでの活動・・・あなたの評価は？

7つの視点から取り組んだ

太田博之 マニフェスト next 2012



詳しくはこちら <http://ota-hiroyuki.com>

私は、1年毎にマニフェストの取組みをチェック（自己評価・第三者評価）してきました。詳しくは太田博之公式ホームページの「マニフェスト通信簿」をご覧ください。ここでは、2期目の3年目を終えての自己評価（2011年8月）を公表します。

議員版マニフェスト評価 (二〇〇八～二〇一〇年度)

学び

学校は社会の入り口。
期待に応えられる教育に再生します。

「教育支援プラットフォーム」を立上げ学校と地域（企業）との連携を図ることができた。また、いじめ・不登校・児童虐待対策としてスクールソーシャルワーカーの設置を実現した。

※『三沢市地産地消推進条例』は制定できず

自己採点
56
/100点

公の

お役所仕事をなくす。
信頼性と機能性の高い行政へと導きます。

市民が行政評価に参加できる仕組みを作ることが出来なかった。入札制度については「総合評価落札方式」の導入については一般質問をつうじて実現した。

自己採点
50
/100点

議の

住民から預かった立場。
その負託に応える議会改革を進めます。

議員の定数については「議会基本条例」を議論する中で改正したかったが結果として定数を削減することが出来た。また、「三沢市選挙公報発行条例」の制定を実現した。

※『三沢市議会基本条例』は制定できず

自己採点
54
/100点

育み

子どもたちは社会の宝。
健やかな育ち・育みを応援します。

一般質問をつうじて「子育てサークル」の設置を実現した。現在は、サークルの利用を促進し、育成・充実を図るべく執行部が施策について検討に着手している。
※『三沢市子育て支援条例』は制定できず

自己採点
68
/100点

働き

チャンスは希望の源泉。
生きがいある多様な場を創ります。

「地域シニア活動プラン」は未だ作成できていないが、三沢航空科学館のボランティア等でシニアの活動を推進している。また、『みさわドリームプラン』に老人対策の見直しを盛り込んだ。2次交通については三沢航空科学館で無料シャトルバスの試験運行を実現。

自己採点
68
/100点

環の

かけがえのない地球。
環境づくりで発展と保全を調和します。

一般質問をつうじて在日米軍の再編の中で「今後の基地機能のあるべき姿について市民と対話の機会が必要」との答弁を引き出し実現に向け大きく前進した。
※『三沢市歩きたばこ、ゴミのポイ捨て条例』は制定できず

自己採点
55
/100点

安の

必ず来る災害。
安全・安心の防災・減災力を向上します。

消防団の充足率100%は達成できなかったが、2011年7月末現在で97%まで改善された。また、災害・防災ボランティアや自主防災組織については執行部に対し意識改革を促すことが出来たが、自主防災組織は2011年3月末で17%に止まっている。

自己採点
80
/100点